

石岡市の家計簿

財政事情書は市の家計簿で、年2回「広報いしおか」に掲載しています。

今回は、平成27年度決算の見込みと、平成28年度の6月30日現在までの財政状況をお知らせします。

平成27年度一般会計決算の見込み

収入・支出とも増額になりました

当初予算額は、315億円でしたが、繰越事業費予算額18億8752万円、補正予算額15億7008万円を加えて、予算総額は349億5760万円となりました。

決算額は、収入合計が331億4768万円、支出合計が317億5424万円でした。

平成26年度決算と比べると、収入は9.5%の増、支出は8.5%の増となりました。増額になった主な理由として以下の項目があげられます。

収入：普通交付税及び震災復興特別交付税の増（地方交付税）、繰入金金の増（その他）
支出：石岡駅周辺整備事業費、道路整備事業費の増（土木費）

なお、年度内の資金不足を補うため、基金の繰り替え運用と一時借入金金の借入を行いました。収入から支出を差し引いた額13億9344万円は、平成28年度へ繰り越しとなります。

平成27年度 特別会計決算の見込み

特別会計とは

国民健康保険や下水道事業などのように、保険料や使用料などの特定の収入で運営する事業について、その事業にかかるお金の流れを分かりやすくするために、一般会計とは別に設けられた会計区分のことです。

企業会計とは

民間企業と同じように、使用料などの収入によって収益を上げ、その収益により運営を行う会計区分のことです。市では、水道事業にのみ導入しており、管理・運営にかかる収益的収支と、施設の整備・改修にかかる資本的収支に分かれています。



(単位：万円)

特別会計名	予算総額	収入合計		支出合計		収入支出差引額 (翌年度に繰越)
		(予算に対する割合%)	(予算に対する割合%)	(予算に対する割合%)	(予算に対する割合%)	
国民健康保険 国民健康保険税の徴収や保険給付などにかかる特別会計	106億8,239	102億7,851	96.2%	99億2,497	92.9%	3億5,354
簡易水道事業 三村地区の簡易水道施設の管理運営にかかる特別会計	4億9,146	3億8,051	77.4%	3億6,264	73.8%	1,787
下水道事業 下水道施設の整備や管理運営にかかる特別会計	24億3,016	22億8,083	93.9%	22億6,400	93.2%	1,683
駐車場 市営駐車場の管理運営にかかる特別会計	2,220	2,479	111.7%	2,197	99.0%	282
農業集落排水事業 農業集落排水施設の整備や管理運営にかかる特別会計	3億635	3億769	100.4%	2億9,362	95.8%	1,407
霊園事業 市営霊園の管理運営にかかる特別会計	2,119	2,370	111.8%	2,036	96.1%	334
介護保険 介護保険料の徴収や介護保険給付などにかかる特別会計	68億4,455	65億8,033	96.1%	62億6,803	91.6%	3億1,230
介護サービス事業 特別養護老人ホーム「のぞみ」の指定管理や介護サービスなどにかかる特別会計	3億434	2億6,264	86.3%	2億6,264	86.3%	0
後期高齢者医療 後期高齢者医療保険料の徴収や後期高齢者医療広域連合納付金にかかる特別会計	7億1,144	6億9,951	98.3%	6億9,751	98.0%	200
合計	218億1,408	208億3,851	95.5%	201億1,574	92.2%	7億2,277

(単位：万円)

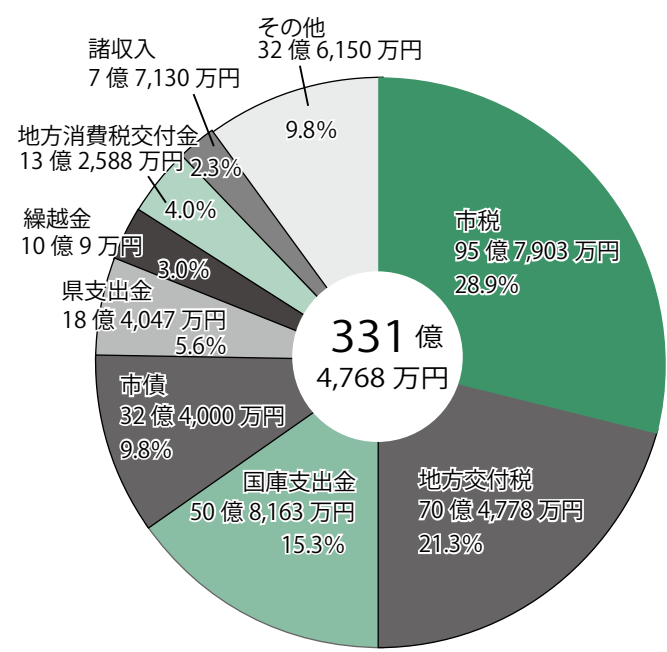
企業会計名	予算総額	決算見込額 (予算に対する割合%)
水道事業 八郷地区の水道施設の管理運営にかかる特別会計		
収益的収入および支出	収入 6億1,392 支出 5億2,584	6億2,552 101.9% 5億562 96.2%
資本的収入および支出	収入 4億4,890 支出 5億1,701	2億5,054 55.8% 3億1,865 61.6%

※それぞれの額には、前年度から繰り越された繰越額を含みます。



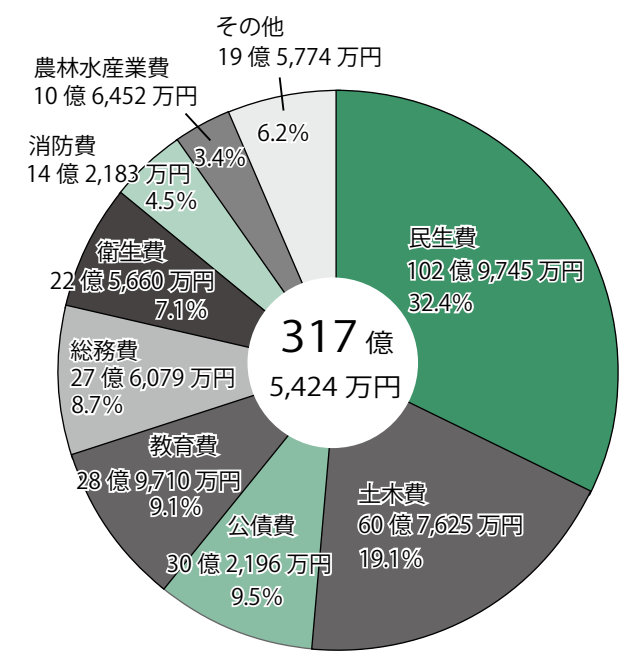
▲ステンレス配水池（八郷水道事務所）

収入



分類	説明
市税	市民税や固定資産税など、私たちが市に納める税
地方交付税	国税のうち、一定の基準に基づき市に配分される税
国庫支出金	国から特定の事務事業のために交付される補助金や委託金など
市債	公共施設の整備などにあてるための借入金
繰越金	県から特定の事務事業のために交付される補助金や委託金など
諸収入	市預金利子や貸付金元利収入、雑入など
その他	地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金、分担金および負担金など

支出



分類	説明
民生費	福祉（障がい者、高齢者、児童など）事業や生活保護などにかかる経費
土木費	道路や公園、市営住宅の建設や維持管理などにかかる経費
公債費	市債（借入金）の返済にかかる経費
教育費	小中学校や幼稚園、図書館、文化振興などにかかる経費
総務費	市役所の庁舎管理や市税の賦課徴収、選挙などにかかる経費
衛生費	医療や環境対策、ごみ処理などにかかる経費
消防費	消防、防災や救急活動、消防団などにかかる経費
農林水産業費	農林水産業の振興などにかかる経費
その他	議会費、商工費、諸支出金など

財産とは：
家計に例えると、貯金や持ち家のことをいいます。基金は、将来のために蓄えておく預貯金のことです。必要に応じて取り崩して利用しています。
市が所有している土地・建物、市役所庁舎・小中学校・公民館などです。
◎市の財産
市が所有している資産は、1年前と比較すると、これまで借地をしていた土地が市の所有になったことなどにより土地の面積が増加しました。基金の減少は、駅周辺整備基金の取り崩しなどによるものです。

土地	205万 651.08平方メートル (204万 8,002.98平方メートル)
建物	28万 633.50平方メートル (28万 633.50平方メートル)
基金	107億 3,329万円 (113億 9,844万円)
有価証券・出資金など	4億 136万円 (3億 9,931万円)

※（）内は1年前の残高です。



小中学校校舎の耐震化が完了（東成井小）

財産（6月30日現在） 市が所有している資産



空港バス発着広場



完成した石岡駅舎と東西自由通路

平成28年度予算執行状況

(単位：万円)

会計名	予算総額	4月～6月 収入合計 (予算に対する割合%)		4月～6月 支出合計 (予算に対する割合%)		4月～6月 支出負担行為額 (予算に対する割合%)	
一般会計	332億 5,409	101億 7,931	30.6%	46億 762	13.9%	83億 9,877	25.3%
国民健康保険	107億 4,796	16億 6,951	15.5%	17億 3,139	16.1%	33億 2,802	31.0%
簡易水道事業	1億 2,462	2,041	16.4%	598	4.8%	7,591	60.9%
下水道事業	26億 7,062	8,419	3.2%	1億 3,994	5.2%	4億 9,701	18.6%
駐車場	2,136	873	40.9%	62	2.9%	255	11.9%
農業集落排水事業	3億 2,209	2,078	6.5%	1,688	5.2%	4,006	12.4%
霊園事業	1,949	694	35.6%	116	6.0%	631	32.4%
介護保険	70億 8,533	12億 8,406	18.1%	10億 5,950	15.0%	10億 9,810	15.5%
介護サービス事業	2億 9,468	2,137	7.3%	6,833	23.2%	2億 6,804	91.0%
後期高齢者医療	7億 2,808	6,104	8.4%	5,946	8.2%	5,956	8.2%
合計	552億 6,832	133億 5,634	24.2%	76億 9,088	13.9%	137億 7,433	24.9%

※それぞれの額には、前年度から繰り越された繰越額を含みます。

※支出負担行為額は、支出の原因となるべき契約その他の行為によって発生した金額のことで、契約金額などの支払予定額を意味します。

(単位：万円)

水道事業		予算総額	4月～6月 収入・支出合計 (予算に対する割合%)	
収益的収入 および支出	収入	6億 74	8,427	14.0%
	支出	5億 397	4,261	8.5%
資本的収入 および支出	収入	2億 5,123	2,210	8.8%
	支出	4億 939	3	0.0%



▲熊本地震の被災地へ救援物資を送る

市債（6月30日現在） 市が借りているお金

会計名	金額
一般会計	298億 1,039万円 (292億 8,235万円)
うち石岡駅東土地地区画整理事業	4,815万円 (5,968万円)
下水道事業	159億 613万円 (166億 3,987万円)
農業集落排水事業	24億 6,905万円 (26億 1,274万円)
簡易水道事業	10億 2,460万円 (7億 6,540万円)
介護サービス事業	1,100万円 (1,100万円)
水道事業	15億 8,362万円 (16億 8,812万円)
合計	508億 479万円 (509億 9,948万円)

※（）内は1年前の残高です。

市債とは：
家計に例えると、住宅ローンなどの長期借入金と同じことをいいます。
主に道路の整備や学校の建設など大型施設を建設・整備するときに利用します。
これらの資産は、多額の建設費用がかかりますが、数十年にわたり世代を超えて長く市民の皆さんに利用されます。そこで、現在利用している人だけでなく、次の世代にも公平に費用を負担していただくという意味で借入れをし、長期間にわたり計画的に返済しています。
◎市債残高は減少しました
市債の現在高は、1年前より1億9469万円減っています。これは、下水道事業などの残高が減少したためです。
平成27年度の一般会計と特別会計を合わせた市債の借入額は37億5840万円でした。

市民一人当たりの資産・負債

資産	
土地	26.56平方メートル (26.35平方メートル)
建物	3.64平方メートル (3.61平方メートル)
基金	13万 9,027円 (14万 6,638円)
有価証券 出資金 出捐金 寄託金	5,199円 (5,137円)
負債	
市債	65万 8,068円 (65万 6,094円)

※数値は、市の人口7万7,203人（平成28年6月30日現在）で算出しています。

※（）内の数字は、1年前のものです。

問い合わせ

財政課
☎ 23-1111
(内線 234)